



P T A 種目では、先生と保護者が一進一退の熱戦を繰り広げ、会場を沸かせました。また、保護者は自分の子ども・孫の勇姿を残そうと、カメラやビデオカメラを片手に「パシャパシャ」とシャッターをきっていました。

中には、カメラを持っているにも関わらず、応援のほう在必死になって、「しもた！ 写真が撮れなかった！」と、周りを笑わせる一コマもありました。



『各小学校で運動会が開催されました』

9月30日(日)、町内にある7つの小学校で運動会が行われ、まだ夏の日差しが残る中、地域の人々や保護者などが小学生と一緒に汗を流しました。

本番に向けて、リレーや短距離走、ダンスの練習を積んできた子どもたちは、一生懸命自分の力を出し切り、笑顔あり、涙あり、感動ありの大変素晴らしい運動会になりました。中でも応援団による応援は、全身を使いながら喉が潰れそうになるくらい大きな声で、精一杯応援をしていました。



『おんがくのつどい ～神村学園吹奏楽部～』

9月8日(土)、中央公民館大ホールにて、大崎町文化協会による自主文化事業として「おんがくのつどい」が開催され、町内外から約400人が来場しました。

今年は、町民体育祭やふれあいフェスタでおなじみの神村学園吹奏楽部が、童話メドレーや謡曲、ジュピターなどを演奏し、子どもからお年寄りまで満足する演奏内容で、皆さん様々な楽器の音色に聴き入っていました。



『回生園で稲作り～陸稲～』

8月27日(月)、町内にある特別養護老人ホーム「回生園」にて、入園者の皆さんが4月に植えた陸稲の収穫が行われました。園内の一角にある1畝ほどの畑からは、6キロの米が取れ、入園者は昔を思い出しながら、木製足踏み式の脱穀機や唐箕などを使い精米しました。

精米した米は、入園者の食事としておにぎりに変わり、自分たちが育てた米を、おいしそうにほうばりました。